

令和5年度佐渡ジオパーク推進協議会臨時総会議事録

- 1 日時 令和6年3月19日(火) 13:30～15:00
- 2 場所 金井コミュニティセンター 1階 大集会室(ホール)
- 3 出席委員
- | | |
|------|-----------------------------------|
| 顧問 | 北 啓(新潟県議会議員) |
| 同 | 渡邊剛忠(有識者) |
| 会長 | 渡辺竜五(佐渡市長) |
| 副会長 | 香遠正浩(佐渡市教育委員会教育長) |
| 同 | 澁谷有子(新潟県佐渡地域振興局長) |
| 会員 | 大鳥範和(新潟大学理学部長) 【オンライン参加】 |
| | 永田尚志(新潟大学佐渡自然共生科学センター長) 【オンライン参加】 |
| (代理) | 木村富美雄(佐渡連合商工会) |
| (代理) | 渡部学(佐渡農業協同組合) |
| | 尾渡英生(佐渡汽船㈱代表取締役社長) 【オンライン参加】 |
| | 清水康博(有識者) 【オンライン参加】 |
| | 中川清太郎(有識者) |
| | 中道康夫(佐渡山岳会会長) |
| | 中川良明(佐渡森林組合代表理事組合長) |
| | 本間東三夫(佐渡観光旅館連盟会長) |
| | 池善世(佐渡ジオパークガイド協会会長) |
| | 中野洸(佐渡を世界遺産にする会会長) |
| | 大石惣一郎(佐渡棚田協議会会長) |
| | 市橋法子(佐渡市企画部総合政策課長) |
| | 正治敏(佐渡市観光振興部世界遺産推進課長) |
- 4 欠席委員
- | | |
|--------|----------------------------------|
| 顧問 | 中川隆一(新潟県議会議員) |
| アドバイザー | 篠崎さえか(環境省佐渡自然保護官事務所首席自然保護官) |
| 会員 | 安東宏徳(新潟大学佐渡自然共生科学センター臨海実験所長) 委任状 |
| | 佐藤達也(佐渡観光交流機構事務局長) 委任状 |
| | 村山優樹(新潟交通佐渡㈱代表取締役社長) 委任状 |
| | 松岡篤(有識者) 委任状 |
| | 市橋弘之(佐渡トレッキング協議会事務局長) 委任状 |
| | 寺尾和弥(佐渡漁業協同組合代表理事組合長) 委任状 |
| | 石川和史(佐渡青年会議所理事長) 委任状 |
| | 小林大吾(佐渡市観光振興部観光振興課観光政策監) 委任状 |
| | 向山正則(佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センター長) 委任状 |

5 事務局

市橋秀紀（事務局長）

伊藤智子

大塚靖人

山本裕士

関根吉則

貞包健良

相田満久

6 審議結果・質疑

議 事

（１）第３次佐渡ジオパーク基本計画（案）について

結果：承認

（２）ジオパーク推進アクションプラン（2024～2028）（案）について

結果：承認

（３）令和６年度 事業計画（案）について

結果：承認

（４）令和６年度 予算（案）について

結果：承認

（議事内容要約／質疑応答）

1 渡辺会長あいさつ

2 総会成立の報告

会員数 27 名、出席者数 18 名、委任状提出 9 名、合計 27 名。

過半数に達しているので、協議会設置要綱第 12 条第 4 項の規定により総会成立。

3 報告

日本ジオパーク再認定審査結果について（資料No. 1）

第 50 回日本ジオパーク委員会審査結果通知書に基づき説明。世界文化遺産候補と世界農業遺産、ジオパークの 3 つのプログラムの連携が進み、成果が上がっている。その背景にジオパークガイドの活躍があることが高く評価されている。その一方で地形地質に偏ったサイト設定が行われていることは大きな課題とされた。佐渡島全域の自然・文化遺産の価値づけ、サイトの整理・再設定を緊急に解決しなければならない。調査・研究部会を中心に早急に行い、それに伴う情報発信や事業を実施していきたい。

【質疑応答】

○会員：ジオパークガイドが高い評価をもらったが、新潟交通佐渡ほか事業部会を中心に皆さんで頑張ったもの。

○顧問：3 つのサイトにはいつ頃から設定するようになったのか。それぞれいくつ設定しているのか。

○事務局：3 つに分類するように明確に言われるようになったのは 2017 年の再認定審査での指摘。分類し直して 2019 年の審査で再認定になったが、今回の審査でまたその部分を指摘された。数は地質・地形のサイトが 130 くらいリストに上がっている。生態のサイトが 5 つ、文化サイトは 7 つを現在設定している。

- 顧問：調査員は、サイトの数を何で確認したのか。「よくわかる佐渡ジオパーク」の本には全部の数が掲載されていないようだ。
- 事務局：サイトリストを別に提出した。その数をもとに判断された。
- 顧問：サイトの考え方は3つの分類がダブっているなどを整理し、リストを新しく作り直した方が良い。

4 議事

- (1) 議案第1号 第3次佐渡ジオパーク基本計画（案）について（資料No.2・3）
- 第3次佐渡ジオパーク基本計画の方向性について説明。佐渡ジオパーク日本認定10周年記念事業実行委員会でもいただいた「佐渡ジオパークのこれからの10年」についての意見をもとに基本方針とし、「佐渡をまるごと学び楽しむことができる地域づくり」を目的とし、「楽しむ」「学ぶ」「守る」を3つの柱として活動していく。
- 「楽しむ」佐渡島をまるごと楽しめるジオツーリズムの推進
教育旅行や海を楽しむ活動など
- 「学ぶ」佐渡島の自然や動植物、歴史、文化を学び郷土愛を育む
SadoGeoClub や防災教室など
- 「守る」貴重な地質・文化・自然資源等を保全する
地域説明会や調査・研究など
- 「3つの柱に共通した活動」
3つのプログラムの関連事業やSDGs啓発事業など
- 計画の期間：令和6年度～令和15年度までの10年間
アクションプランの期間：令和6年度～令和10年度までの5年間（前期）
対象エリア：佐渡島全域
- 【質疑応答】 特になし

- (2) 議案第2号 ジオパーク推進アクションプラン（2024～2028）（案）について（資料No.6）
- 第3次基本計画に基づく佐渡らしいジオパークを進めるにあたってのアクションプランであるが、日本ジオパーク委員会へも提出する。各事業のPDCAを実施すること、「楽しむ」「学ぶ」「守る」の満足度や意識の向上なども指標にし、佐渡をまるごと学び楽しめるジオパークとなるよう進めていく。

【質疑応答】

- 会員：ガイドの認定数と実働のガイド数は、地域によって異なる。仕事、健康、子育てほかの理由で、実働は10数人。実働できるガイドをたくさん認定する取組をしてほしい。
- 事務局：ガイドをしたいという方を対象に養成講座を実施し、ガイドになった方にも実際に活動できるようなサポートをしていく。
- 会員：ガイドになる方は自分でジオパークの現地を巡り勉強し、知識を得て魅力を感じた上で人に伝えたくてガイドになる。佐渡のジオパークは素晴らしいと感じさせるように取り組んでほしい。
- 会員：サイトに設定された集落には特に丁寧に地域説明会をしてもらいたい。
- 事務局：地域説明会はコロナ禍でできなかったが、昨年からは実施している。参加者からは「自分の住む集落がすごく魅力があることが分かった」という声も聞こえてくる。これから地域説明会に力を入れていく。

- (3) 議案第3号 令和6年度 事業計画（案）について（資料No.4）
- 第3次基本計画に基づき、「楽しむ」「学ぶ」「守る」に関する令和6年度の事業を行う。

【質疑応答】 特になし

(4) 議案第4号 令和6年度 予算(案)について(資料No.5)

収入・支出の予算額はそれぞれ14,529千円。

【質疑応答】 特になし

5 その他

○顧問：ジオパークは地域づくりだ。世界文化遺産や世界農業遺産で取り扱う内容はジオパークと重なる部分が多い。専門的なことはそれぞれのプログラムで進める中で相互に補完し合い、ジオパークとしてはそれを楽しみながら理解してもらう取組が必要。

6 澁谷副会長あいさつ

終了